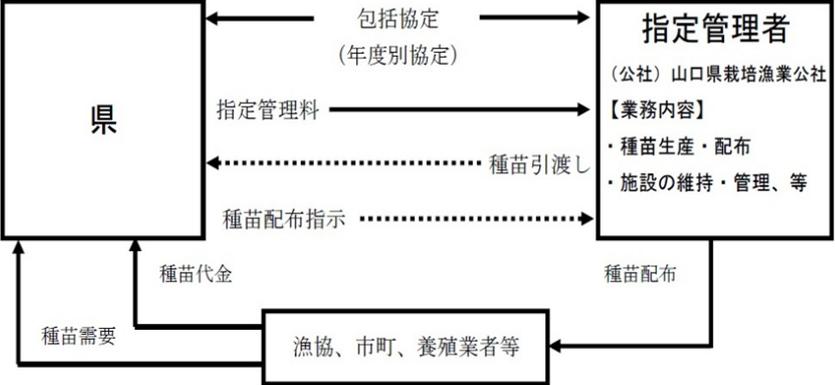


【4-8】

湾・灘の区分	響灘、周防灘、伊予灘、安芸灘
取組の名称	水産動植物の増殖の推進
事業期間及び事業費	<p>①<b>事業名：水産動植物種苗生産業務委託事業(種苗生産・供給)</b>          事業期間：平成28年度～令和2年度          事業費：318,036千円(令和元年度・県全体予算)</p> <p>②<b>事業名：漁業生産増大推進事業(抱卵ガザミ放流支援)</b>          事業期間：平成28年度～令和4年度          事業費：1,000千円(令和元年度)</p> <p>③<b>事業名：漁業生産増大推進事業(トラフグ・ヒラメ種苗放流支援)</b>          事業期間：平成28年度～令和4年度          事業費：5,252千円(令和元年度・県全体予算)</p> <p>④<b>事業名：調査研究事業(有害生物被害防止総合対策事業)</b>          事業期間：平成18年度～          事業費：500千円</p>
事業体制	<p>①<b>種苗生産・供給</b>          山口県、(公社)山口県栽培漁業公社、漁協、市町等</p>  <pre>         graph TD             Prefecture[県] -- "包括協定 (年度別協定)" --&gt; Manager[指定管理者 (公社)山口県栽培漁業公社]             Prefecture -- "指定管理料" --&gt; Manager             Manager -- "種苗引渡し" --&gt; Prefecture             Prefecture -.-&gt;  "種苗配布指示"   Manager             Manager -- "種苗配布" --&gt; Fishermen[漁協、市町、養殖業者等]             Fishermen -- "種苗需要" --&gt; Prefecture             Fishermen -- "種苗代金" --&gt; Prefecture             </pre> <p>【業務内容】          ・種苗生産・配布          ・施設の維持・管理、等</p> <p>②<b>抱卵ガザミ放流支援</b>          【抱卵ガザミにマークをして再放流】宇部・小野田・山陽地域栽培漁業推進協議会          【再放流に係る経費を支援】山口県</p> <p>③<b>トラフグ・ヒラメの種苗放流支援</b>          【種苗放流を実施】(公社)山口県栽培漁業公社          【放流効果調査(市場調査等)を実施】山口県水産研究センター</p> <p>④<b>ナルトビエイ生態調査</b>          【駆除を実施】山口県漁協(宇部統括支店)          【生態調査を実施】水産研究センター</p>
事業の背景・目的	<p>①水産動植物の種苗生産、栽培漁業に関する指導、山口県栽培漁業センターの管理業務を指定管理者に委託することで、水産資源の増大を図り、水産関連産業の振興に資する。</p> <p>②③生産の現場となる地先・沿岸・沖合における生産力の回復・維持に資する取組の実証・支援を行うことにより、漁業生産力の強化・漁業所得の向上を図る。</p>
事業場所の詳細	山口県内

事業内容	<p>①種苗生産業務を委託          ②抱卵ガザミの再放流に係る買取経費を補助          ③トラフグ・ヒラメの種苗放流経費を補助          ④アサリ等を捕食するナルトビエイの生態調査を行う。(駆除も含む)</p>
モニタリング方法(効果・影響の確認方法)	<p><b>②抱卵ガザミ放流支援</b>          [調査項目]水産物生産量 等          [調査時期] 5～7月に予算内で買い取り放流          [調査場所]宇部市、山陽小野田市(宇部・小野田・山陽地域栽培漁業推進協議会)          [モニタリング方法]抱卵ガザミのマーク、再放流          農林水産統計年報による水揚量の把握</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="496 555 922 860">  <p>抱卵ガザミのマーク</p> </div> <div data-bbox="951 555 1377 860">  <p>再放流</p> </div> </div> <p><b>③トラフグ・ヒラメの種苗放流支援</b>          [調査項目]水産物生産量 等          [調査時期]          ・ヒラメ:4月の放流時          ・トラフグ:7月の放流時          [調査場所]          ・ヒラメ:長門市(山口県外海栽培漁業センター・水産研究センター外海研究部)          ・トラフグ:山口市(山口県内海栽培漁業センター・水産研究センター内海研究部)          [モニタリング方法]          鰭カット、パンチング、耳石染色による放流魚追跡調査(市場調査)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="496 1294 922 1599">  <p>トラフグ鰭カット作業</p> </div> <div data-bbox="951 1294 1377 1599">  <p>ヒラメパンチング作業</p> </div> </div>

<p>(続き)モニタリング方法(効果・影響の確認方法)</p>	<p><b>④ナルトビエイ生態調査</b>  [調査項目]水産物生産量 等  [調査時期・頻度]5～6月・2～3回  [調査場所]宇部市(山口県漁協宇部統括支店・水産研究センター内海研究部)  [モニタリング方法]  駆除個体の生物調査(雌雄比、大きさ等)、タグ付け放流による回遊調査</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>捕獲されたナルトビエイ      駆除個体の生物調査</p>
<p>取組による効果・影響及びその判断基準等</p>	<p><b>①～④の結果</b>  ・キジハタ生産量: H29(基準)20t → H30(実績)19t  ・アワビ生産量: H29(基準)35t → H30(実績)35t  <b>④ナルトビエイ生態調査の結果</b>  ・毎年の駆除事業により、個体が小型化</p>
<p>モニタリング結果に対する見解・課題</p>	
<p>モニタリング結果の活用方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算措置に活用</li> <li>・種苗ニーズの把握</li> </ul>
<p>関係機関等における連携・情報共有の方法</p>	<p>県庁内部局との連携はないが、関係機関等において必要に応じて情報提供を行っている</p>
<p>現状での課題</p>	<p><b>①種苗生産・供給</b>  種苗生産施設の老朽化、新たな感染症に対応した防疫体制の強化  <b>②抱卵ガザミ放流支援</b>  ガザミについては、種苗放流も行っており、資源添加効果が種苗放流によるものか、抱卵ガザミ再放流によるものか、不明  <b>③トラフグ・ヒラメの種苗放流支援</b>  トラフグ・ヒラメは広域回遊魚種であり、関係府県連携による調査体制の確立が必要</p>
<p>今後の予定等</p>	<p>種苗放流、産卵親魚の再放流、外敵生物駆除を継続実施</p>
<p>取組事例についての発表資料等</p>	<p>瀬戸内海環境保全小委員会(第15回)資料</p>
<p>情報提供元</p>	<p>山口県</p>